

文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業

産官学連携による地域・社会の未来を拓く人材の育成プロジェクト～キャリア教育の体系化と充実を図る取り組み～

(実施期間：平成24年度採択～平成26年度)

これまでの取り組み【平成22年度～平成23年度】

現在、大学全入時代といわれる中で、経済状況の悪化による就職難や仕事の定着率が問題となっており、高校生のキャリア教育の必修化を皮切りにキャリア教育の重要性がますます高まっています。

秋田大学では、平成22年度に文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」の採択を受け、「就業力の育成に重点を置いた大学教育改革」をテーマに掲げ、これまでのアカデミック能力に限らず、社会人として必要な基礎的能力(=就業力)及び個人の資質を高めるために大学生のキャリア教育を推進してきました。

平成22～23年度「大学生の就業力育成支援事業」の実績

- ①就業力育成に最適な教育・指導方法の企画と推進
 - 秋田大学の教育・指導方法の現状把握のための教員アンケートの実施
 - 教員アンケート結果による就業力を高めるための教育手法の共有
- ②就業力の育成に重点を置いた効果的なカリキュラムの編成
 - コミュニケーション能力修得のための授業科目「日本語リテラシーⅠ、Ⅱ」「コミュニケーショントレーニング」、就業力をテーマとする「就業力分析論」の開講
 - 卒業生や企業等を対象とした就業意識に関するアンケート結果を踏まえた1～3年次まで一貫したキャリア形成科目のシラバス案作成
- ③高校と連携したキャリア教育
 - 高校・大学間の連携によるキャリア教育の改善を図ることを目的に県内高校代表者と「キャリア教育に関する高大連携意見交換会」を開催
- ④就業力・社会人基礎力の育成に関するFDシンポジウムの実施
 - 「学びの技法を考える」と題して、学内教職員の情報・意識の共有化を目的に開催

- ⑤就業力・社会人基礎力を育む教育プランの学生への提示とガイダンス
 - 就業力育成に関する「就業力ガイドブック」を作成のうえ、本事業対象学部・学科の学生に配付
- ⑥キャリアポートフォリオシステムの導入及び有効システムの企画
 - 学生自らがキャリア形成を構築することをサポートし、教員が閲覧指導可能なシステムを導入
 - 学生の自己成長の取り組みやその記録を「見える化」し、更なる自己成長を図るツールを企画

今後の取り組み【平成24年度～】

平成24～26年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」

新たに、平成24年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の採択を受け(北海道・東北ブロックとして連携校16校と共同申請)、前述の取り組みを基盤に本学学生の現状と産業界のニーズをマッチングさせるために、次の4本の柱をテーマに取り組んでいます。

- ①社会人基礎力とキャリア形成を育む授業科目の編成
 - 平成25年度入学者を対象に「キャリアデザイン基礎、同Ⅰ、同Ⅱ、同総論」から成るキャリア形成科目を新たに開講
- ②産業界や地域と連携したフィールドワークの実施
 - 「キャリアデザインⅡ」の中で、自立的なキャリア形成を促す前提として、早期からの職業意識・勤労観を醸成することを目的にジョブシャドウイングを実施
- ③地域や高校との連携を通じての実践能力の修得
 - 秋田大学で従来から実施している地域貢献活動等について実践能力を身に付けさせることを目的に学生主体で企画・運営
- ④キャリアポートフォリオシステムの充実
 - 平成24年度に一部学科を対象に実施したパイロット運用を通じた学生・教員からのヒアリングを踏まえ、より使いやすく能力の修得向上が期待できるシステムへの改善・充実を図る

秋田大学における学生支援と産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業のスキーム

